

科目	データサイエンス入門 (A)		単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期		月曜1限	
担当教員	水鳥 正二郎			
履修対象	PT1年秋学期・OT1年秋学期・ST1年秋学期			
概要と目的	<p>「概要」 現代社会におけるデータサイエンスやAIの役割を理解した上で、データやAIを活用する方法について学ぶ。</p> <p>「目的」 データ社会を一市民として、また職業人として生き抜く力を身につけることを目的とする。</p>			
学位授与方針との関 連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuhsi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)			
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) データサイエンスやAIの役割を説明できる。 (2) データを見たときにその意味を説明できる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 最適なデータ活用を考えつことができる。 (2) データを適切に図表化することができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) データに基づいた意思決定をする姿勢を身につける。</p>			
授業計画		単独	担当教員	
1	なぜデータサイエンスを学ばなければならないのか		水鳥 正二郎	
2	そもそもデータとはどのようなものか		水鳥 正二郎	
3	データ・AI活用の実際		水鳥 正二郎	
4	データ・AI利活用のための技術：さまざまなデータ解析		水鳥 正二郎	
5	データ・AI利活用のための技術：データ解析のための技術		水鳥 正二郎	
6	データ・AI活用の現場		水鳥 正二郎	
7	データ・AI活用の最新動向		水鳥 正二郎	
8	データを読む：データから必要な情報を引き出す		水鳥 正二郎	
9	データを説明する：データの可視化		水鳥 正二郎	
10	データを扱う：データの整形と操作		水鳥 正二郎	
11	データ・AIを扱う上での留意事項：個人データとプライバシー		水鳥 正二郎	
12	データ・AIを扱う上での留意事項：データ・AIを適切に扱う		水鳥 正二郎	
13	データを守るうえでの留意事項		水鳥 正二郎	
14	データとエビデンス		水鳥 正二郎	
15	データ・AIを活用していこう		水鳥 正二郎	
実務経験のある教員 による授業科目				
準備学習	(1) 各回の授業に当たっては、教科書の該当ページを熟読し、まとめておくこと (2) 各回の課題に取り組み、次週までにmanabaで提出すること		(1) 1時間程度 (2) 3時間程度	
フィードバック	授業中のワークや毎回の小テスト・レポートについては、授業中に全体に対してコメントをします。			
学生が準備すべき機 器等	授業回によってはPCを持参する必要がある			
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。			
授業形態	講義			
具体的な内容	グループワーク／講義			
教科書				
教科書名	著者名	出版社	金額	
教養としてのデータサイエンス改訂第2版	北川源四郎／竹村彰通編	講談社	1,980円	

参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
データサイエンス入門	竹村彰通・姫野哲人・高田聖治編	学術図書出版社	2,200円
データサイエンスの基礎	濱田悦生著、狩野裕編	講談社	2,420円
はじめてのデータサイエンス	滋賀大学データサイエンス学部・山梨大学 ICTリテラシー教育チーム共著	学術図書出版社	2,090円
文系のためのデータサイエンス入門	市川正樹著	学術図書出版社	2,530円
データサイエンスはじめの一步	佐久間淳・國廣昇編著	講談社	2,200円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準  (1) データサイエンスやAIの役割を適切に説明し、(2) データを適切に処理・表現でき、(3) 自身の今後データサイエンスやAIをどう活用するのかを表明できれば合格。</p> <p>方法  毎回の理解力テスト (30%)、授業中のワークへの取り組み (20%)、毎回の課題 (50%)</p>		
留意点	データサイエンスに関わる様々な情報はネットで得られるものであり、授業中にネットを参照する指示を出すことがある。 また、実際にデータ操作を授業中に行う回もある。 したがって授業の際にはPCを持参することが必要である。		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	GE412001

科目	情報処理学Ⅰ（リA）	単位数	1単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	月曜3限	
担当教員	中谷 聡		
履修対象	PT1年春学期・OT1年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 情報機器を用いた、インターネットでの情報収集、文書処理アプリを用いた文書作成と編集、表計算アプリを用いたデータの処理、プレゼンテーションアプリを用いたプレゼンテーション作成を学ぶ。</p> <p>「目的」 大学での学習活動や研究活動において必要不可欠な情報リテラシー、すなわちICT（Information and Communication Technology, 情報通信技術）の知識と活用能力の獲得が目的である。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。（ <a href="https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html">https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html</a> ）		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1) 情報を扱ううえで身につけておくべきセキュリティと情報モラルについて説明できる。</p> <p>(2) ICTを活用して情報を整理し文書化できる。</p> <p>(3) ICTを活用して簡単な数値データの処理・図表化ができる。</p> <p>(4) ICTを活用して簡単な発表資料を作成することができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1) ICTを活用した情報収集に際して、適切に情報の価値を判断できる。</p> <p>(2) ICTを活用した問題解決を選択肢の一つとして持つようになる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1) ICTに積極的に触れて慣れる。</p> <p>(2) 情報を発信する際に、受け手のことを考えるようになる。</p> <p>(3) 許可無く他人の著作物を使用してはならないと考えるようになる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	コンピュータの基本操作1／この授業の概要、PCの活用、タイピング、本学で利用可能な情報資源、学修支援システムの利用		中谷 聡
2	コンピュータの基本操作2／ファイル管理、OneDrive、Microsoft365、電子メール、クラウドサービスとデスクトップアプリ、Wordの基本		中谷 聡
3	文書作成の基本／Wordの活用（入力オートフォーマット、編集記号、ページ設定、既定のフォント、改ページ、フォントの変更、フォントの飾り、印刷設定）、Officeのテーマ、生成AI、Copilotを使った情報収集		中谷 聡
4	インターネットの活用1-情報収集とセキュリティ-／図書の検索（OPACの利用）、ネットセキュリティ（セキュリティ3原則、パスワード、暗号化、マルウェア、セキュリティ対策ソフト、ネット詐欺）		中谷 聡
5	インターネットの活用2-情報発信と倫理-／情報モラル（著作権、SNSの適切な利用、デマと炎上、エコーチェンバーとフィルターバブル、信頼できる情報限は？）		中谷 聡
6	文書作成1-基本的な段落の作り方-／文字情報と書式、段落の書式（揃え、インデント、タブ）、図形（描画、線種と塗りつぶし）、文字列の折り返し		中谷 聡
7	文書作成2-1 ページの文書の作成-／画像の挿入、オンライン画像の利用、表の挿入、行・列の挿入や削除、列幅の変更、セルの結合、表の飾り、表の位置の変更		中谷 聡
8	表計算1-Excelの基本-／セルの指定、セルの入力・訂正・削除、加減乗除、相対参照と絶対参照、複数シートの扱い		中谷 聡
9	表計算2-関数-／合計・平均・最大・最小、セルの表示形式、セルの移動とコピー、代表値と散布度		中谷 聡
10	表計算3-グラフ-／適切なグラフの選択、棒グラフ、折れ線グラフ、行と列の入れ替え、数値軸の変更（最大最小、単位）、円グラフ、離れた領域の選択、積み上げグラフ、横向きグラフ、複合グラフ、表とグラフの印刷		中谷 聡
11	表計算4-データベース的活用-／データベースの考え方、並べ替え、抽出、ピボットテーブル		中谷 聡
12	表計算5／ヒストグラム、相関係数と散布図、四分位数と箱ひげ図		中谷 聡
13	Word、Excelの実技試験		中谷 聡
14	プレゼンテーション1／プレゼンテーションとは、プレゼンテーションの作成、スライドの挿入・移動・削除、文字書式、レイアウトの変更		中谷 聡
15	プレゼンテーション2／スライドのテーマ、SmartArt、画面切り替え効果、アニメーションの設定、スライドショーの実行、配布資料の印刷		中谷 聡
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	①教科書やmanaba上の教材を用いてあらかじめ学ぶ項目のリストを作成しておくこと ②毎回課せられる課題に取り組むこと		①30分程度 ②60分程度

フィードバック	提出物についてのフィードバックはmanabaを通じて行う		
学生が準備すべき機器等	各自のノートPCを持参すること。		
ICT・データサイエンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	演習		
具体的な内容	演習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
スペースキーで見た目を整えるのはやめなさい～8割の社会人が見落とす資料作成のキホン	四禮静子	技術評論社	1,848円
エクセル方眼紙で文書を作るのはやめなさい～「他人の後始末」で、もうだれも苦しまない資料作成の新常識	四禮静子	技術評論社	1,848円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準 ①インターネットを活用した情報収集・発信において必要な事柄を理解し、また②指定された手法を用いて文書作成・データ処理・発表資料作成を行えば合格</p> <p>方法 宿題などの提出物（30%）、小テスト（10%）、課題作成（10%）、実技試験（50%）</p>		
留意点	<p>本授業は実習科目であるので出席を重視する。 配当教室はPC実習室だがPCは無く、各自のノートPCを持参すること。 PC実習室の使用に際して、使用ルールを守ること。 課題提示・作成方法の実演・課題提出・フィードバック等全てmanaba等で行う。</p>		
備考	<p>課題について、共通して誤りが多かった部分については解説を行う。 また、非常に不十分であれば再提出を課すこともある。</p>		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	GE411001

科目	情報処理学Ⅱ (健A)	単位数	1単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期	火曜3限	
担当教員	水鳥 正二郎		
履修対象	健康科学科1年秋学期		
概要と目的	<p>「概要」 情報機器を用いた、表計算アプリによる数値データや文字データの処理を学んだうえで、データの収集・加工・表現の一連の処理を学ぶ。</p> <p>「目的」 大学での学習活動や研究活動において必要不可欠な情報リテラシー、すなわちICT (Information and Communication Technology, 情報通信技術) の知識と活用能力の獲得が目的である。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) ICTを活用してデータの数値的な処理や、必要なデータの抽出ができる。 (2) ICTを活用して、情報収集、データ加工、文章化、情報発信などの一連の情報活用ができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) ICTを活用して問題解決を行うことを考えるようになる。 (2) 目的に応じたソフトウェアを選択し、かつ目的に適した機能を活用できる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 大学での学習で積極的にICT機器を活用する。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	表計算1-表計算の基礎-セルの指定、セルの入力・訂正・削除、数式、絶対参照と相対参照、複数シートの扱い		水鳥 正二郎
2	表計算2-関数-表計算での計算(計算式の理解、加減乗除、べき乗)、基本的な関数(合計・平均・最大・最小)、セル・行・列の移動・コピー・削除、セルの表示形式		水鳥 正二郎
3	表計算3-関数と絶対参照-絶対参照を使う関数(VLOOKUPとRANK.EQ)、表の整形(罫線、フォント、塗りつぶし)、条件付き書式、表の印刷(印刷範囲、余白と用紙の向き)		水鳥 正二郎
4	表計算4-論理関数-IF関数、IF関数の組み合わせ、AND・OR関数		水鳥 正二郎
5	表計算5-グラフ-適切なグラフの選択、棒グラフ、折れ線グラフ、行と列の入れ替え、数値軸の変更(最大最小、単位)、円グラフ、離れた領域の選択、横向きグラフ、複合グラフ、表とグラフの印刷		水鳥 正二郎
6	表計算6-データベース的活用-リスト形式、並べ替え、抽出、大規模な表の取り扱い(改ページ、印刷タイトル、ヘッダーとフッター、ウィンドウ枠の固定)		水鳥 正二郎
7	表計算7-データの集計-ピボットテーブル、代表値と散布度、ヒストグラム		水鳥 正二郎
8	表計算8-データの分析-相関と散布図、分布のゆがみと四分位数		水鳥 正二郎
9	表計算9/表計算の総まとめ		水鳥 正二郎
10	表計算10/表計算の実技試験		水鳥 正二郎
11	総合実践1/Excelの機能を使いこなしたデータ処理		水鳥 正二郎
12	総合実践2/Word, Excel, PowerPointの活用と連携1(Excelでのデータ処理1)		水鳥 正二郎
13	総合実践3/Word, Excel, PowerPointの活用と連携2(Excelでのデータ処理2)		水鳥 正二郎
14	総合実践4/Word, Excel, PowerPointの活用と連携3(Wordでの文書作成)		水鳥 正二郎
15	総合実践5/Word, Excel, PowerPointの活用と連携4(PowerPointでのプレゼンテーション作成)		水鳥 正二郎
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	①教科書やmanaba上の教材を用いてあらかじめ学ぶ項目のリストを作成しておくこと ②毎回課せられる課題に取り組むこと		①30分程度 ②60分程度
フィードバック	提出物についてのフィードバックはmanabaを通じて行う		
学生が準備すべき機 器等	各自のノートPCを持参すること		
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	演習		

具体的な内容	演習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
使用しない			
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
スペースキーで見た目を整えるのはやめなさい～8割の社会人が見落とす資料作成のキホン	四禮静子	技術評論社	1,848円
エクセル方眼紙で文書を作るのはやめなさい～「他人の後始末」で、もうだれも苦しまない資料作成の新常識	四禮静子	技術評論社	1,848円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準 ①指定された機能を活用してデータ処理を行え、また②自ら判断して適切な機能を取捨選択して文書作成、データの処理と図表化、発表資料作成ができれば合格</p> <p>方法 毎回の課題25%、実技試験50%、製作物25%</p>		
留意点	<p>本授業は実習科目であるので出席を重視する。 配当教室はPC実習室だがPCは無く、各自のノートPCを持参すること。 PC実習室の使用に際して、使用ルールを守ること。 課題提示・作成方法の実演・課題提出・フィードバック等全てmanaba等で行う。</p>		
備考	<p>課題について、共通して誤りが多かった部分については解説を行う。 また、非常に不十分であれば再提出を課すこともある。 本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。 新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては授業計画は変更の可能性がある。</p>		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	GE411002

科目	情報処理学Ⅱ（リ）	単位数	1単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期	木曜3限	
担当教員	水鳥 正二郎		
履修対象	PT1年秋学期・OT1年秋学期・ST1年秋学期		
概要と目的	<p>「概要」 情報機器を用いた、インターネットでの情報収集、文書処理アプリを用いた文書作成と編集、表計算アプリを用いたデータの処理、プレゼンテーションアプリを用いたプレゼンテーション作成を学んだうえで、データの収集・加工・表現の一連の処理を学ぶ。</p> <p>「目的」 大学での学習活動や研究活動において必要不可欠な情報リテラシー、すなわちICT（Information and Communication Technology, 情報通信技術）の知識と活用能力の獲得が目的である。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。（ <a href="https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html">https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html</a> ）		
達成目標	<p>「知識・技能」 （1）ICTを活用して実践的な文書作成ができる。 （2）ICTを活用してデータの数理的な処理や、必要なデータの抽出ができる。 （3）ICTを活用して印象に残る発表資料を作成できる。 （4）ICTを活用して、情報収集、データ加工、文章化、情報発信などの一連の情報活用ができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 （1）ICTを活用して問題解決を行うことを考えるようになる。 （2）目的に応じたソフトウェアを選択し、かつ目的に適した機能を活用できる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 （1）大学での学習で積極的にICT機器を活用する。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	文書作成1／Wordの復習、箇条書き、図形（グループ化、順序など）、ページ罫線、ワードアート、段組み		水鳥正二郎
2	文書作成2／アウトラインとスタイル、ヘッダーとフッター、ページ番号、図表番号、脚注、文章校正、セクション区切り、文字列の検索と置換、パスワード、コメント、変更履歴		水鳥正二郎
3	文書作成3／Wordのまとめ		水鳥正二郎
4	表計算1／Excelの復習、計算式の理解、表の整形（罫線、フォント、塗りつぶし）、表の印刷（印刷範囲、余白と用紙の向き）		水鳥正二郎
5	表計算2／RANK.EQ関数、VLOOKUP関数、大規模な表の取り扱い（改ページ、印刷タイトル、ヘッダーとフッター、ウィンドウ枠の固定）		水鳥正二郎
6	表計算3／IF関数、IF関数の組み合わせ、AND関数・OR関数		水鳥正二郎
7	表計算4／Excelのまとめ		水鳥正二郎
8	プレゼンテーション1／スライド挿入とレイアウト、テーマ、印刷、ワードアート・表・Excel・SmartArtの活用		水鳥正二郎
9	プレゼンテーション2／画面切り替え効果、アニメーション、ハイパーリンク、配布資料		水鳥正二郎
10	Word, Excelの実技試験		水鳥正二郎
11	総合実践1／Excelの機能を使いこなしたデータ処理		水鳥正二郎
12	総合実践2／Word, Excel, PowerPointの活用と連携1（Excelでのデータ処理1）		水鳥正二郎
13	総合実践3／Word, Excel, PowerPointの活用と連携2（Excelでのデータ処理1）		水鳥正二郎
14	総合実践4／Word, Excel, PowerPointの活用と連携3（Wordでの文書作成）		水鳥正二郎
15	総合実践5／Word, Excel, PowerPointの活用と連携4（PowerPointでのプレゼンテーション作成）		水鳥正二郎
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	①教科書やmanaba上の教材を用いてあらかじめ学ぶ項目のリストを作成しておくこと ②毎回課せられる課題に取り組むこと		①30分程度 ②1時間程度
フィードバック	提出物についてのフィードバックはmanabaを通じて行う		
学生が準備すべき機 器等	各自のノートPCを持参すること		
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	演習		

具体的な内容	演習		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
使用しない			
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
スペースキーで見た目を整えるのはやめなさい～8割の社会人が見落とす資料作成のキホン	四禮静子	技術評論社	1,848円
エクセル方眼紙で文書を作るのはやめなさい～「他人の後始末」で、もうだれも苦しまない資料作成の新常識	四禮静子	技術評論社	1,848円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準 ①指定された機能を活用して、データ処理を行ったり発表資料を作成したりでき、また②自ら判断して適切な機能を取捨選択して文書作成、データの処理と図表化、発表資料作成ができれば合格</p> <p>方法 毎回の課題30%、実技試験45%、製作物25%</p>		
留意点	<p>本授業は実習科目であるので出席を重視する。 配当教室はPC実習室だがPCは無く、各自のノートPCを持参すること。 PC実習室の使用に際して、使用ルールを守ること。 課題提示・作成方法の実演・課題提出・フィードバック等全てmanaba等で行う。</p>		
備考	<p>課題について、共通して誤りが多かった部分については解説を行う。 また、非常に不十分であれば再提出を課すこともある。</p>		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	GE411002

科目	統計学		単位数	1単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期		水曜2限	
担当教員	治部 哲也			
履修対象	福祉創造学科1年秋学期・心理科学科1年秋学期・健康科学科1年秋学期・福祉栄養学科1年秋学期・PT1年秋学期・OT1年秋学期・ST1年秋学期・子ども発達1年秋学期			
概要と目的	<p>「概要」  科学的な研究において、収集されたデータを分析し傾向性を探るために、統計学は必要不可欠なものである。統計学を活用することで、自分の考えを数量で示して客観的に示すことが可能となる。本講義では基本的な統計学の知識と技術を学ぶ。</p> <p>「目的」  適切なデータ収集方法やデータの傾向性を示すための記述統計学を学ぶ。さらに、実験・調査研究において必要とされる基本的な統計手法を学び、実際に自分で統計処理ができるようになることを目的とする。</p>			
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuhsi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)			
達成目標	<p>「知識・技能」  (1) 人に関する様々な情報を数値化して科学的に理解することができる。  (2) 記述統計と推測統計、統計的仮説検定について説明ができる。  (3) 電卓やPCを用いて基本統計量の算出・検定・推定などの統計処理ができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」  (1) 収集したデータに対して適切な統計手法を選択することができる。  (2) 適切な統計手法を用いてデータを数値化・可視化ができる。  (3) 実験や調査研究において統計処理が重要であることを認識する。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」  (1) 各種統計情報に関心を持ち、自らデータを収集し統計処理を行うことができる。</p>			
授業計画			単独	担当教員
1	統計学とは、データの種類、データの特徴を表現する1（度数分布表とヒストグラム）			治部
2	データの特徴を表現する2（代表値：平均値、中央値、分散、標準偏差、変動係数）			治部
3	正規分布と標準化、母集団と標本			治部
4	対応のない2つの平均値の差の検定			治部
5	対応のある2つの平均値の差の検定			治部
6	カイ2乗検定－2つの質的変数の関係を調べる			治部
7	相関分析と回帰分析－2つの量的変数の関係を調べる			治部
8	オッズとオッズ比、まとめ			治部
実務経験のある教員 による授業科目				
準備学習	(1) 事前にマナバにアップされた資料を熟読する。 (2) 毎回理解度確認と復習のための小テストや課題を課すので欠かさず取り組み提出する。		(1) 60分 (2) 90分	
フィードバック	課題のフィードバックは紙面及び口頭もしくはマナバで行います。			
学生が準備すべき機器等	電卓（できれば関数電卓）を使って計算を行うので各自準備しておくこと（授業内でも説明します）。授業中にパソコンを用いて統計処理を行うことがあるためノートパソコンを持参すること。（毎回持参する必要はありません。持参する必要のある場合は事前に告知します。）			
ICT・データサイエンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。			
授業形態	講義			
具体的な内容	講義／演習			
教科書				
教科書名	著者名	出版社	金額	
適宜資料を配布する。				
参考書				

参考書名	著者名	出版社	金額
マンガでわかるナースの統計学 データの見方から説得力ある発表資料の作成まで	田久浩志・小島隆矢	オーム社	2,200円＋税
基礎医学統計学改訂第6版	加納克己・高橋秀人	南江堂	2,300円＋税
オープンソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準：①記述統計と推測統計、統計的仮説検定について説明ができ、②電卓を用いて基本統計量の算出・検定・推定などの統計処理ができるれば合格とする。</p> <p>方法：平常課題（小テスト・課題）（40%）と定期試験（60%）を総合的に評価をする。ただし、定期試験は6割以上の得点を獲得する必要がある。</p>		
留意点	毎回欠かさず出席し、着実に小テストや課題をこなすこと。		
備考	数学の基礎知識が必要となります。		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	GE612005

科目	基礎数学	単位数	1単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	木曜1限	
担当教員	水鳥 正二郎		
履修対象	福祉創造学科1年春学期・心理科学科1年春学期・健康科学科1年春学期・福祉栄養学科1年春学期・PT1年春学期・OT1年春学期・ST1年春学期・子ども発達1年春学期		
概要と目的	「概要」 身近な問題を例に数学的な考え方に触れると同時に、それに必要な計算能力を鍛えていきます。 「目的」 問題への数学的なアプローチを身につけることが目的です。		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	「知識・技能」 (1) 問題に対して、適切な数学的アプローチを選べる。 (2) 数的情報の意味を把握し、活用できる。 「思考力・判断力・表現力」 (1) 問題解決の際に、論理的な手続きを踏むことができる。 「主体性・多様性・協働性」 (1) 些細なことでも疑問に思えば、それを解決する意欲を持つ。		
授業計画		単独	担当教員
1	掛け算で増えていく／始まりの数字／大雑把に桁だけ求める		水鳥 正二郎
2	暗算の世界／自己相似な図形		水鳥 正二郎
3	あたりの数値／ピタゴラスの定理		水鳥 正二郎
4	平均値の秘密／特別な比率		水鳥 正二郎
5	割合と確率／起こってしまった後の確率		水鳥 正二郎
6	数の種類／速度の平均／偶奇性		水鳥 正二郎
7	直感に反する確率／期待値と大数の法則／無限の数		水鳥 正二郎
8	組合せの数／音楽と数字		水鳥 正二郎
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	(1) 事前にプリントを読み、問題が何で回答は何かを書き出しておこう。 (2) 授業中に解説した問題は、必ず振り返ってもう一度解かたをなぞりましょう。 (3) 毎回出題される練習問題に取り組もう。	(1) 1時間程度 (2) 1時間程度 (3) 2時間程度	
フィードバック	毎回課すテストについて、結果についての全体的なコメントを口頭で行う		
学生が準備すべき機 器等			
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
教科書は使用しない（プリント配布）			
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額

オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準 問題に対して適切な数学的手法を選び、回答することが出来れば合格</p> <p>方法 2回目以降毎回実施する小テストが50%、授業終了後に課すレポートが50%</p>		
留意点	<p>2回目以降、前回出された課題について小テストを実施します。</p> <p>小テストはmanabaを用いて実施します。また、授業中に簡単なクイズについてmanabaのクリッカー機能を用いて回答してもらいます。</p>		
備考	小テストについては、回答直後に解説します。		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	GE612001

科目	社会福祉調査の基礎	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期	月曜4限	
担当教員	家高 将明		
履修対象	福祉創造学科3年秋学期・心理科学科1年秋学期		
概要と目的	<p>概要 講義を通して、社会福祉や精神保健福祉分野における調査の必要性を理解するとともに、調査を実施する上での倫理にも留意しながら、質的・量的調査のデータ収集の方法と分析、評価について学習する。</p> <p>目的 社会福祉調査に関する知識や技能、倫理の基礎を習得するとともに、ソーシャルワーク実践において活用するための方法を理解する。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」  (1) 社会福祉調査の意義を説明できる。  (2) 質的調査及び量的調査の要点を説明できる。  (3) 質問紙を作成できる。  (4) 統計資料の数値や収集したデータを分析できる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」  (1) 統計資料の数値や収集したデータによる分析内容を表現できる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」  (1) 統計資料を積極的に活用できる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	オリエンテーション／社会福祉調査の意義と目的		家高将明
2	量的調査と質的調査		家高将明
3	全数調査と標本調査		家高将明
4	質問紙の作成方法と留意点		家高将明
5	調査票の配布と回収		家高将明
6	量的調査の集計と分析 (1) ／記述統計と推測統計		家高将明
7	量的調査の集計と分析 (2) ／結果分析のための集計方法①		家高将明
8	量的調査の集計と分析 (3) ／結果分析のための集計方法②		家高将明
9	量的調査の演習 (1)		家高将明
10	量的調査の演習 (2)		家高将明
11	質的調査の種類		家高将明
12	質的調査の方法		家高将明
13	質的調査のデータ整理と分析		家高将明
14	ソーシャルワーク実践における社会福祉調査の活用		家高将明
15	まとめ		家高将明
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	(1) 各回の講義内容の要点をおさえ、必要な準備を進めること (2) 各回の授業内容を整理して、次回の授業に臨むこと	(1) 1.5時間 (2) 2時間	
フィードバック	課題等に関するフィードバックはマナバを通じて行う。		
学生が準備すべき機器等			
ICT・データサイエンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学 ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義／演習		
教科書			

教科書名	著者名	出版社	金額
社会福祉調査の基礎	橋本有理子編著	ミネルヴァ書房	2,400円（税別）
随時、レジュメや資料も配付する。			
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準 達成目標の各項目について、ある程度達成することができれば合格とする。</p> <p>方法 ①定期試験による評価を行います（80%） ②講義への参加姿勢を評価します（小テストの得点を含む）（20%）</p>		
留意点	<p>毎回の授業内容に関する課題に取り組んでもらうため、授業に対して主体的な姿勢でのぞむこと 授業中にデータ分析を行う場合があるため、officeを利用することができるパソコンを持参すること</p>		
備考	<p>心理科学科では、精神保健福祉士基礎科目履修の対象となる科目である。</p>		
非常時の特例措置	<p>新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。</p>	No.	SW421027・PY321003

科目	心理学統計法Ⅰ（心）	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	水曜3限	
担当教員	多田 美香里		
履修対象	心理科学科1年春学期		
概要と目的	「概要」 心理学統計法の基礎を学ぶ。 「目的」 心理学における統計解析の基礎知識を修得することを目的とする。		
学位授与方針との関 連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuhsi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	「知識・技能」 (1) 心理統計学の基礎的な用語が説明できる (2) 心理学研究における統計解析の意義が説明できる 「思考力・判断力・表現力」 (1) 統計情報の正しい使い方と誤った使い方の判断ができる 「主体性・多様性・協働性」 (1) 心理学の概念と数値的表現や統計的分析との関係に興味を持つ (2) メディアにおける統計情報に意識を向ける		
授業計画		単独	担当教員
1	心理学統計法とは：心理学で使用される統計解析、データの種類（尺度水準）		多田美香里
2	1変数の要約(1)：度数分布表、ヒストグラム、累積度数		多田美香里
3	1変数の要約(2)：代表値（平均値・中央値・最頻値）の使い分け		多田美香里
4	1変数の要約(3)：散布度（範囲・分散・標準偏差）の意味		多田美香里
5	1変数の要約(4)：データの標準化（zスコア・偏差値）		多田美香里
6	2変数の要約(1)：散布図、相関関係の種類と強さ		多田美香里
7	2変数の要約(2)：ピアソンの積率相関係数の仕組みと解釈		多田美香里
8	回帰分析(1)：回帰直線概念、最小二乗法の考え方		多田美香里
9	回帰分析(2)：単回帰方程式による予測と決定係数		多田美香里
10	確率の基礎(1)：集合と確率、確率変数の基礎		多田美香里
11	確率の基礎(2)：正規分布の性質と標準正規分布表の見方		多田美香里
12	推測統計の基礎(1)：母集団と標本、無作為抽出の方法		多田美香里
13	推測統計の基礎(2)：不偏分散、標準誤差、標本分布の理論		多田美香里
14	推測統計の基礎(3)：点推定と区間推定		多田美香里
15	全体の総括：これまでの復習、統計的仮説検定		多田美香里
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	(1) 各回のテーマについて教科書の該当部分を読み、わからない用語や項目について各自で調べてノートにまとめておくこと。 (2) 授業終了後マナバに掲載している課題を期限までに行い提出すること。また、授業終了後に公開する授業スライドを確認してノートに書き加えること。	(1) 1時間程度 (2) 1時間程度	
フィードバック	宿題、レポート課題等については締め切り後にマナバ等で解答例を示すので、採点結果とともに参照すること。		
学生が準備すべき機 器等	授業中にインターネットを参照する指示を出すことがあるため、Wi-Fi接続可能なパソコンを持参することが望ましい。		
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義／実習もしくは実技		
教科書			

教科書名	著者名	出版社	金額
公認心理師ベーシック講座 心理学統計法	芝田征司	講談社	2,600円+tax
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	「基準」 心理統計学の基礎的な概念や用語について毎回の課題および学期末試験における確認テストで一定の基準をクリアしていれば合格 「方法」 毎回の課題30%、授業内での小テストやコメント20%、学期末試験50%		
留意点			
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	PY821022

科目	心理学研究法Ⅱ	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	月曜4限	
担当教員	宇恵 弘		
履修対象	心理科学科3年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 心理学の代表的研究法の1つである質問紙調査法について学修をします。まず、質問項目作成時に留意する点を学び、実際に質問項目を作成します。次に、作成した質問項目を使用して調査を実施し、収集した資料の入力と項目の分析を行います。</p> <p>「目的」 質問項目の作成方法とその回答方法、ならびに調査の手続きと項目の検討を、実習を通じて理解・体得することが目的です。</p>		
学位授与方針との関 連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 質問項目の作成方法について理解し、実践で役立てることができる。 (2) 調査倫理について理解し、実践で役立てることができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 人間の行動、態度、思考などを的確にとらえる項目となっているか考えることができる。 (2) コンピュータを利用して、質問紙の作成からデータの入力・分析までをおこなうことができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 人間の行動、態度、思考などを的確にとらえるための項目作成について関心を持つ。 (2) 質問紙調査を実施する際の倫理について関心を持つ。 (3) 仲間と協力し、情報交換をしながら項目作成に取り組むことができる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	質問紙調査法とは1／オリエンテーション、質問紙調査法とは、フェースシートと調査倫理		宇恵
2	質問紙調査法とは2／サンプリングと調査の実施		宇恵
3	項目作成の基礎1／測定内容の明確化、項目作成の方法、ワーディング（課題：項目の案出）		宇恵
4	項目作成の基礎2／質問項目を整える（課題：項目案をまとめる）		宇恵
5	項目作成の基礎3／回答形式について（課題：項目案をまとめる）		宇恵
6	項目作成の基礎4／調査用紙の作成（課題：調査用紙を完成させる）		宇恵
7	調査の実施／調査の実施、データの整理と入力（課題：データ収集と入力）		宇恵
8	項目分析1／項目困難度1（課題：データの統合と度数分布表の作成）		宇恵
9	項目分析2／項目困難度2（課題：データ分析結果のレポート作成）		宇恵
10	項目分析3／項目識別力1（課題：項目尺度間相関を求める、GP分析を行う）		宇恵
11	項目分析4／項目識別力2（課題：データ分析結果のレポート作成）		宇恵
12	項目分析5／項目の等質性1（課題：クロンバッハの $\alpha$ 係数を求める）		宇恵
13	項目分析6／項目の等質性2（課題：データ分析結果のレポート作成）		宇恵
14	春学期の復習1／レポート作成		宇恵
15	春学期の復習2／レポート作成		宇恵
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	各回、事後学習のための宿題を準備しているので、翌週までに解答しておくこと。		1.5時間程度
フィードバック	課題に対しては各講義時間内にフィードバックする。		
学生が準備すべき機 器等	ノートパソコン。		
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	実習もしくは実技		
具体的な内容	グループワーク／講義／実習もしくは実技／PBL／調査学習		
教科書			

教科書名	著者名	出版社	金額
指定教科書なし			
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
調査法講義	豊田秀樹	朝倉書店	3,400円+tax
心理尺度の作り方	村上宣寛	北大路書房	2,200円+tax
社会福祉調査の基礎	橋本有理子編著	ミネルヴァ書房	2,400円+tax
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	「基準」 ①項目作成の一連の手順が理解でき、②各回の課題や最終課題において一定の基準をクリアできていれば合格。 「方法」 各回の課題提出状況と学修内容確認課題60%、学修意欲40%。		
留意点	課題の提出を頻繁に求めます。 グループワークにより講義と課題を進めます。 心理学統計法ⅠとⅡの学修を終えている、あるいは本年度履修していることが望ましい。 コンピュータの操作、特にExcelの操作に熟達していることが望ましい。		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	PY821027

科目	心理学統計法Ⅰ（健）	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	木曜2限	
担当教員	治部 哲也		
履修対象	健康科学科2年春学期		
概要と目的	<p>「概要」  科学的な研究において、収集されたデータを分析し傾向性を探るために、統計学は必要不可欠なものである。統計学を活用することで、自分の考えを数量で示して客観的に示すことが可能となる。本講義では基本的な統計学の知識と技術を学ぶ。</p> <p>「目的」  適切なデータ収集方法やデータの傾向性を示すための記述統計学を学ぶ。さらに、心理学の研究で用いられる基本的な統計手法を学び、実際に自分で統計処理ができるようになることを目的とする。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」  (1) ころろや体の健康についての統計学的指標を説明できる。  (2) 様々なデータの統計的処理ができる。  (3) 様々なデータの性質や統計的処理の結果を説明できる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」  (1) 状況に応じた統計学的手法を選択できる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」  (1) 統計学を駆使して状態を把握しようとする態度を持つ。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	統計とは：統計の対象／統計的取り扱いの必要性／変数の種類と「尺度」【遠隔授業】		治部
2	グループを特徴づける：度数分布		治部
3	グループを特徴づける：代表値		治部
4	グループの特徴づける：散布度		治部
5	二つの変数の関係：クロス集計と群間比較		治部
6	二つの変数の関係：相関と回帰		治部
7	確率：確率と期待値		治部
8	確率：確率分布と確率密度分布		治部
9	確率：正規分布の性質		治部
10	推定：標本とは／標本の抽出		治部
11	推定：母集団の平均の分布		治部
12	検定：検定の考え方／棄却域と有意確率		治部
13	検定：過誤		治部
14	検定：度数分布を対象とする検定		治部
15	検定：検定の使い分け（t検定、 $\chi^2$ 乗検定、F検定、順位検定、直接検定等）		治部
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	(1) 事前にマナバにアップされた資料を熟読する。 (2) 毎回理解度確認と復習のための小テストや課題を課すので欠かさず取り組み提出する。	(1) 60分 (2) 90分	
フィードバック	課題のフィードバックは口頭もしくはマナバで行います。		
学生が準備すべき機 器等	電卓（できれば関数電卓）を使って計算を行うので各自準備しておくこと（授業の中でも説明する）。 授業中にパソコンを用いて統計処理を行うことがあるためノートパソコンを持参すること。（毎回持参する必要はありません。持参する必要のある場合は事前に告知します。）		
ICT・データサイエ ンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義／演習／実習もしくは実技		
教科書			

教科書名	著者名	出版社	金額
適宜資料を配布する。			
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
挫折しない統計学入門	浅野晃	オーム社	2,200円
マンガでわかるナースの統計学 データの見方から説得力ある発表資料の作成まで	田久浩志・小島隆矢	オーム社	2,200円
基礎医学統計学改訂第6版	加納克己・高橋秀人	南江堂	2,300円
統計学が最強の学問である	西内啓	ダイヤモンド社	1,728円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準：記述統計と推測統計、統計的仮説検定について説明ができ、電卓を用いて基本統計量の算出・検定・推定などの統計処理ができるれば合格とする。</p> <p>方法：定期試験60%、課題・小テスト40%として総合的に評価する。</p>		
留意点	毎回欠かさず出席し、着実に小テストや課題をこなすこと。		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	HS121002

科目	公衆衛生学（健）	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期	火曜4限	
担当教員	福田 早苗		
履修対象	健康科学科2年秋学期		
概要と目的	<p>「概要」 衛生管理者・養護教諭免許の必修科目である。公衆衛生学では、特に健康の概念、厚生統計、疫学研究、感染症、生活習慣病、社会保障制度等について学修する。</p> <p>「目的」 健康の概念、厚生統計、疫学研究等の学修を通じ現在の日本や世界の抱える健康や医療の問題やその統計について学び、健康支援を実施する際にこれらの知識をどのように活かしていくかを考えていくことを目的とする。</p>		
学位授与方針との関 連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 （１）病院実習・職場・学校等で必要なところからだの健康に関する公衆衛生上の知識・課題を身につけることができる。 （２）各種統計を解釈する力を身につけることができる。 （３）公衆衛生上の課題に対するディベート力を身につけることができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 （１）健康に関わる要因その維持・増進する方法について考えることができる。 （２）公衆衛生的な手法に基づき、自身が将来希望する職場での健康管理・教育を考えることができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 （１）専門家として多様なチームで働くことの意味を理解し、福祉社会に貢献しようとする強い意志と意欲を持ちづけることができる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	概論／公衆衛生学は学校や職場でどのような役に立つか考える（遠隔授業）		福田
2	健康の概念、その歴史的意義を含めて		福田
3	衛生統計の見方		福田
4	人口動態統計		福田
5	疫学研究とは、その考え方		福田
6	疫学研究-データ収集方法及び統計手法		福田
7	感染症（１）感染症の要因と動向		福田
8	感染症（２）感染症の予防と衛生管理体制		福田
9	生活習慣病・健康日本21		福田
10	生活習慣病とその要因		福田
11	各ライフサイクルにおける健康問題-母子・女性・高齢者を含む		福田
12	保健医療制度・日本の制度の内容と現在の問題		福田
13	社会保障制度と社会福祉		福田
14	国際的な問題－国際保健		福田
15	公衆衛生の課題、データ改ざん問題等倫理面含めて（遠隔授業）		福田
実務経験のある教員 による授業科目	大阪府の学校法人で衛生管理者として11年安全衛生業務を経験した（福田早苗）。 神戸・大阪・京都等の研究所において研究員等として統計解析や疫学研究を経験した（福田早苗）。		
準備学習	（１）授業前に教科書の該当箇所を熟読し、関連する新聞・テレビ・雑誌等のニュースに目を通す （２）授業後にはマナバ等に出された課題に取り組む		（１）1時間 （２）0.5時間
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題のフィードバックはマナバのコースニュース等を通じて行う。</li> <li>・コメントシートは次週フィードバックを行う。</li> <li>・15回の授業の中で複数回小テストを実施する。自己採点とし、結果・解説はその場で行う。</li> </ul>		
学生が準備すべき機 器等	・授業回によっては、授業中にインターネットを参照する指示を出すことがあるため、指定された回にはWi-Fi接続が可能なパソコンを持参すること。		
ICT・データサイエ ンス教育プログラ ム	・本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		

具体的な内容	ディスカッション・ディベート／講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
公衆衛生がみえる	医療情報科学研究所	MEDIC MEDIA	3600+税
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>「基準」 公衆衛生上の知識・課題を身につけ、各種統計を解釈し、公衆衛生の観点から職場での対策を考えることが出来れば合格。</p> <p>「方法」 試験（60%）、授業時提出物・授業時の積極性等総合的評価（40%）。グループワーク、レポート課題をかすこともある。</p>		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私語厳禁です。受講態度不良者は退出を命じることがある。遅刻は3回で1回欠席とする。</li> <li>・教科書は春学期の衛生学の教科書と同じものを使用する。公衆衛生学のみを受講する場合は春学期に教科書を購入することを推奨する。</li> </ul>		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	HS921006

科目	栄養情報論実習（栄A）	単位数	1単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	木曜3限、木曜4限、木曜5限	
担当教員	竹田 竜嗣		
履修対象	福祉栄養学科1年春学期		
概要と目的	<p>「概要」</p> <p>「日本人の食事摂取基準」の算定に関する数値の取り扱いを理解するうえで、統計学の知識が必要になる。また、通常の統計学の知識だけでなく、栄養分野に特化した「栄養統計学」について、エクセルなどのPCソフトも活用しながらデータ処理を習得し、今後の調査・研究、栄養教育などに実践できる応用力を学修する。</p> <p>「目的」</p> <p>健康増進や疾病との結びつきについて知るためには、様々なデータを読み解くことが必要である。特に栄養関連の情報について統計学を理解することで示されたデータの本質や信頼性を把握することができるためこれらの情報を読み解く知識を得ることを目的とする。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。（ <a href="https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html">https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html</a> ）		
達成目標	<p>「知識・技能」</p> <p>(1) 健康・栄養に関する統計資料、例えば日本人の食事摂取基準を読む。</p> <p>(2) 自分でデータを収集し、統計処理を行うための方法、手法を理解する。</p> <p>(3) データの収集方法、整理、数値化ができる。</p> <p>(4) 電卓やPCを用いて基本統計量を求めることができる。</p> <p>(5) 電卓やPCを用いて検定や推定などの統計処理が理解できる。</p> <p>(6) 統計処理後のデータのまとめ方、可視化（グラフ化）が理解できる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」</p> <p>(1) 食事摂取基準値の意味や意義を考えるようになる。</p> <p>(2) 収集したデータに対して、適切な統計処理を選択し、図表などを使ってまとめることができる。</p> <p>(3) 実験や調査研究において、データ処理の必要性や客観的な科学的根拠のもとになるデータの重要性について考える。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」</p> <p>(1) 具体的事例に基づいたデータを収集できる。</p> <p>(2) 収集したデータについて記述統計および推測統計の手法を他社と選択しまとめ、他者と議論することにより協働性の重要性を理解することができる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
(内容)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統計学とは/数値やデータの持つ意味、栄養統計学とは データの種類/数値の取り扱い方/母集団とデータ/データの代表値/データの集計と表現</li> <li>2. 日本人の食事摂取基準/食事摂取基準の基本的数値の取り扱い方</li> <li>3. 二項分布と官能検査</li> <li>4. 1つの母集団に関する母分散と母平均の検定と推定</li> <li>5. 2つの母集団の検定と推定：母分散の比に関する検定と推定、母平均の差に関する検定と推定</li> <li>6. 2つの母集団の検定と推定2：対応のあるデータの母平均の差に関する検定と推定/Wilcoxonの順位和検定、符号付順位和検定</li> <li>7. 異なったデータ間の相関関係を示す指標(散布図、相関関係)/異なったデータ間の関連性を示す指標(回帰直線)</li> <li>8. 分割表、クロス集計表と検定</li> </ol>		竹田 竜嗣（第1～8回）
実務経験のある教員 による授業科目	食品・化粧品開発支援企業においてで研究センター長・学術部門長として食品開発、食品の機能性研究、化粧品開発を15年経験した。		
準備学習	(1) 数学の基礎知識が必要となります。実習前にマナバに掲示している参考図書を熟読し、レジュメにまとめておくこと。		(1) 1時間
フィードバック	課題のフィードバックは次回の実習時に行います。		
学生が準備すべき機器等	関数電卓を持参すること。授業中にネットを参照する指示を出すことがあるため、Wi-Fi接続が可能なパソコンを持参すること。詳しくは第1回目の授業で説明します。		
ICT・データサイエンス教育プログラム	本科目は、「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	実習もしくは実技		
具体的な内容	ディスカッション・ディベート/グループワーク/実習もしくは実技		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
管理栄養士・栄養士のための統計処理入門	武藤志真子 編著	建帛社	2900円

参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 「日本人の食事摂取基準」の算定に関する数値の取り扱いを理解し、具体的データを適切な方法で処理し、まとめることができれば合格。</p> <p>成績評価の方法 理解力テスト（20%）、課題レポート（70%）、学修意欲・授業への貢献度（10%）を総合して評価します。</p>		
留意点	<p>実習後はその日に行った課題について1時間程度復習し理解を深めること。表計算ソフト(Excel)を使用しますので、PCの操作を修得しておく必要があります。</p>		
備考			
非常時の特例措置	<p>新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。</p>	No.	NS522001

科目	公衆衛生学（栄）	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	月曜2限	
担当教員	余田 佳子		
履修対象	福祉栄養学科1年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 1年春学期の「公衆衛生学」と1年秋学期の「健康管理論」をあわせて公衆衛生学を総合的に学修する。春学期の公衆衛生学では、健康の考え方、健康に関わる環境要因と生活習慣、各種統計データからみた健康の現状、疫学の基本的な考え方や方法などを学修する。</p> <p>「目的」 公衆衛生学は人々の健康増進や疾病予防を扱う予防医学に位置づけられる。医療、福祉、学校、職域などのさまざまな場で活躍する栄養士・管理栄養士にとって公衆衛生学は重要な学問分野であり、健康と疾病やそれらに関わる要因などに関する基本的知識を習得することを目的とする。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。（ <a href="https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html">https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html</a> ）		
達成目標	<p>「知識・技能」 （1）健康の概念を説明できる。 （2）健康に関わる環境要因と生活習慣を説明できる。 （3）統計資料に基づき健康状態の現状と動向を説明できる。 （4）疫学の考え方や方法を説明できる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 （1）統計資料に基づき健康状態の課題を見いだすことができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 （1）健康に関わる多種多様な要因を評価し、健康増進や疾病予防に役立てるための資質向上を目指す。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	健康と公衆衛生（1）：健康の概念		余田 佳子
2	健康と公衆衛生（2）：公衆衛生の概念、健康格差		余田 佳子
3	環境と健康（1）：生態系と生活、環境汚染（大気、水質、土壌、騒音等）、公害		余田 佳子
4	環境と健康（2）：環境衛生（気候と季節、空気、温熱、放射線、水道、廃棄物、建築物）		余田 佳子
5	保健統計（1）：保健統計の概要、人口静態統計		余田 佳子
6	保健統計（2）：人口動態統計		余田 佳子
7	保健統計（3）：生命表、傷病統計		余田 佳子
8	健康状態・疾病の測定と評価（1）：疫学の概念、疫学指標		余田 佳子
9	健康状態・疾病の測定と評価（2）：曝露効果、記述疫学研究		余田 佳子
10	健康状態・疾病の測定と評価（3）：疫学研究の方法（分析疫学、介入研究）		余田 佳子
11	健康状態・疾病の測定と評価（4）：バイアス、交絡、因果関係		余田 佳子
12	健康状態・疾病の測定と評価（5）：スクリーニング、EBM、研究倫理		余田 佳子
13	生活習慣と健康（1）：健康に関連する行動と社会、身体活動・運動		余田 佳子
14	生活習慣と健康（2）：喫煙行動、飲酒行動		余田 佳子
15	生活習慣と健康（3）：睡眠・休養・ストレス、歯科口腔保健		余田 佳子
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	事前に教科書を予習して要点を整理しておくこと。前回の講義内容と次回の講義内容が関連することが多いので、前回の講義内容を復習して理解を深めておくこと。		1時間程度
フィードバック	課題に対するフィードバックは講義内または次回の講義で行う。		
学生が準備すべき機器等			
ICT・データサイエンス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義		

教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
〔社会・環境と健康〕 公衆衛生学 2025/2026	【編著者】中村信也 【著者】田口良子・緒方裕光・丸山 浩・ 佐々木溪円・新開省二・内田博之・岡崎英規	同文書院	2,800円
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	(基準) 健康と公衆衛生の概念、環境と健康の関わり、保健統計の推移と現状、疫学の基本的な考え方や方法論を正しく理解できれば合格とする。 (方法) 定期試験と小テストの結果、授業中の態度や発言内容等の授業に対する貢献度を総合的に評価する。		
留意点	不明な箇所は適宜質問するなどして解決していくこと。講義中は私語を慎んで講義に集中すること。		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	NS421002

科目	公衆衛生学（リ）	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	木曜1限	
担当教員	山本 真紀		
履修対象	PT2年春学期・OT2年春学期・ST2年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 公衆衛生の概念と目的および、健康と環境の関わりとその疫学的調査方法、衛生活動、保健・医療制度、社会保障、予防医学について学修する。</p> <p>「目的」 現在の新型コロナウイルスなどによる感染症問題も含め、公衆衛生学分野の役割を理解し医療現場で活用できるようになることを目的とする。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 健康に関する社会の諸問題を正しくとらえられる。 (2) 疫学の方法と分析法の基礎が身に付けられる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 健康問題を科学的に考えることができる。 (2) 医療の現場における健康や予防医学について考察できる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 身の回りの健康に関する諸問題に関心が持てる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	公衆衛生とは：授業のオリエンテーション、公衆衛生の概念と定義		山本真紀
2	健康とは：健康の概念と定義、国際協力		山本真紀
3	健康と環境（1）：健康の要因、集団の健康		山本真紀
4	健康と環境（2）：疫学の方法、演習1		山本真紀
5	健康と環境（3）：疫学の方法、演習2		山本真紀
6	健康の指標：人口問題、人口動態、健康状態 / 小テスト（疫学の計算問題）		山本真紀
7	感染症とその予防：感染症とは、感染症の種類と予防		山本真紀
8	食品保健と栄養：食品の安全、食中毒、国民の栄養		山本真紀
9	環境衛生：地球環境問題、生活環境、公害 / 小テスト（感染症、食品衛生、環境衛生）		山本真紀
10	医療の制度：医療保険、介護保険		山本真紀
11	地域保健活動：保健所、医療サービス、ヘルスサービス / 小テスト（医療制度、法令関係、地域活動）		山本真紀
12	ライフステージと健康活動（1）：母子保健、学校保健		山本真紀
13	ライフステージと保健活動（2）：産業保険、老人保健		山本真紀
14	疾病とその予防（1）：生活習慣病、中・高年に多い疾患		山本真紀
15	疾病とその予防（2）：健康日本21と健康増進法		山本真紀
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	<p>(1) 授業後に、教科書の該当ページを確認すること。 (2) 復習として付録「整理ノート」の確認問題を解いておくこと（小テストは確認問題から出題します）。 (3) 日頃から新聞やニュースを見て、社会生活や行政、環境、国際問題まで、健康に関わる様々な事柄に関心をもつようにする。</p>		<p>(1) 1時間 (2) 2時間 (2) 1時間</p>
フィードバック	・小テストのフィードバックは、次週に行います。理解度によっては再提出を行ってまいります。		
学生が準備すべき機器等	・授業中にインターネットを参照することがあるので、Wi-Fi接続ができるパソコンを持参すること。		
ICT・データサイエンス教育プログラム	・本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目です。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義／演習		

教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
わかりやすい公衆衛生学 第4版	清水忠彦他	ヌーヴェル・ヒロカワ	2300円
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
医療職のための公衆衛生・社会医学 第8版	長谷川友紀他編	医学評論社	3520円
図説国民衛生の動向2025/2026	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会	2000円
国民衛生の動向 2025/2026	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会	3400円
図解入門 よくわかる公衆衛生学の基本としくみ (メディカルサイエンスシリーズ) 第2版	上地 賢 他	秀和システム	1980円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準：①公衆衛生の目的を理解し、②健康を公衆衛生的に捉えることができ、③公衆衛生活動の内容が理解できれば合格とします。</p> <p>方法：筆記試験（50%）、小テスト（30%）、レポート課題（20%）で評価します。</p>		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDやパワーポイントなど視聴覚教材を使用します。</li> <li>・小テストや演習を随時行いますので、復習のために教科書をよく読むようにしてください。特に疫学の演習で取り組む計算問題は国家試験でも出題されていますのでマスターしておきましょう。</li> </ul>		
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	RC312004

科目	算数（小）	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	月曜2限	
担当教員	中尾 真也		
履修対象	子ども発達2年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 算数科では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育むことを目標としている。目標をふまえた授業の実現に向けて、算数科の目標、内容及び領域や系統性について学修する。</p> <p>「目的」 実践的・協働的な学修を通して、小学校学習指導要領における算数科の目標、内容及び領域や系統性を理解し、学年や領域の特性に見合った授業づくりをするために必要な基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とする。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 算数科の目標、内容及び系統性について理解している。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 算数科の目標、内容及び系統性について考察し、まとめることができる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 算数科の目標、内容及び系統性について、主体的に身に付けようとしている。 (2) グループワークを通して、他者と協働し課題解決に取り組むことができる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	算数科に係る学習指導要領の歴史		中尾真也
2	算数科に係る学習指導要領における領域の概要・教材分析について		中尾真也
3	「数と計算」領域の特性と系統①		中尾真也
4	「数と計算」領域の特性と系統②		中尾真也
5	「数と計算」領域の特性と系統③		中尾真也
6	「図形」領域の特性と系統①		中尾真也
7	「図形」領域の特性と系統②		中尾真也
8	「図形」領域の特性と系統③		中尾真也
9	「測定」領域の特性と系統		中尾真也
10	「変化と関係」領域の特性と系統		中尾真也
11	「データの活用」領域の特性と系統①		中尾真也
12	「データの活用」領域の特性と系統②		中尾真也
13	「データの活用」領域の特性と系統③		中尾真也
14	算数におけるICT活用		中尾真也
15	総括・理解力テスト		中尾真也
実務経験のある教員 による授業科目	奈良県で小学校教諭として10年間の勤務を経験した。		
準備学習	①授業に係る算数の単元について、複数社の小学校「算数」教科書を比較する。 ②授業に係る算数の領域について、小学校学習指導要領解説算数編を熟読する。		①②各1時間程度
フィードバック	各回の課題について次週フィードバックを行う。		
学生が準備すべき機 器等	インターネットを参照する指示がある際はWi-Fi接続が可能なPCを持参すること。		
ICT・データサイエン ス教育プログラム	本科目は「関西福祉科学大学 ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目である。		
授業形態	講義		
具体的な内容	講義		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額

小学校学習指導要領解説算数編	文部科学省	日本文教出版	224
小学校学習指導要領	文部科学省	東京書籍	201
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
必要に応じて、印刷物の配付や参考書の紹介をする。			
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	基準：算数科の目標、内容及び系統性について考察し、まとめることができれば合格とする。 方法：理解力テスト55% 課題45%		
留意点			
備考			
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	ES321003

科目	理科 (小)	単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度春学期	月曜5限	
担当教員	山本 真紀		
履修対象	子ども発達1年春学期		
概要と目的	<p>「概要」 理科教育の意義と役割、理科の目標、内容、構成について理解し、領域ごとの学習のねらいや内容について概要を把握する。理科の面白さや楽しさを実感できるように観察や提示実験、グループワーク、発表も取り入れて、理科授業の構築に必要な幅広い知識を学修する。</p> <p>「目的」 理科の学習指導要領の変遷と流れ、将来への展望を俯瞰し、新学習指導要領に基づいた理科教育の理論と方法および、ICT教育やプログラミング学習の必要性など、理科教育の今後について理解を深めることを目的とする。</p>		
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)		
達成目標	<p>「知識・技能」 (1) 学習指導要領に基づいた理科教育の理論と方法について説明できる。 (2) 理科の目標および「A物質・エネルギー」「B生命・地球」の各領域の内容と構成が説明できる。 (3) 第3学年～第6学年までの理科の目標と内容を説明できる。 (4) 小学校理科の学習指導の基本（指導計画と指導案）がわかる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 (1) 各学年の学習内容から領域の区分ごとに学習のねらいを述べるができる。 (2) 実験の結果および考察を文章や口頭で適切に表現できる。</p> <p>「主体性・多様性・協働性」 (1) 観察や実験から理科の面白さや楽しさへの関心を広げ、理科授業構築に必要な知識の習得に主体的に取り組める。 (2) 実験を通して問題を見だし、他者と協働して課題に取り組むことができる。</p>		
授業計画		単独	担当教員
1	理科教育の意義と役割、理科学習指導要領の見方		山本真紀
2	理科の目標と内容		山本真紀
3	理科の内容区分 (A物質・エネルギー、B生命・地球)		山本真紀
4	理科の単元目標、指導計画、指導案、評価等		山本真紀
5	A区分「エネルギー」「物質」のねらいと内容		山本真紀
6	B区分「生命」「地球」のねらいと内容		山本真紀
7	理科室の使い方、基本器具の扱い方、実験を安全に行うための注意		山本真紀
8	Aエネルギー 1 (風やゴムの動き / 3年生・電気の働き / 4年生)		山本真紀
9	Aエネルギー 2 (振り子の運動 / 5年生・電気の利用とプログラミング学習 / 6年生)		山本真紀
10	A物質 1 (物と重さ / 3年生・金属、水、空気と温度 / 4年生)		山本真紀
11	A物質 2 (物の溶け方 / 5年生・燃焼の仕組み / 6年生)		山本真紀
12	B生命 1 (昆虫と植物 / 3年生・人の体のつくりと運動 / 4年生)		山本真紀
13	B生命 2 (植物の発芽、成長、結実 / 5年生・生物と環境 / 6年生)		山本真紀
14	B地球 1 (太陽と地面の様子 / 3年生・月と星 / 4年生)		山本真紀
15	B地球 2 (天気の変化 / 5年生・土地のつくりと変化 / 6年生)		山本真紀
実務経験のある教員 による授業科目			
準備学習	<p>(1) 授業の前半は、学習指導要領と教科書の関連内容をよく読んで授業に臨むこと。 (2) 授業後半ではA区分 (物理・化学) およびB区分 (生物・地学) の実験を行うので、中学校や高等学校の教科書で関連内容の事前学習をしておくこと。 (3) 授業内容に関する課題や理科の教員採用試験問題等を配布またはマナバで配信しますので、授業後の知識の確認を行うこと。</p>		<p>(1) 1～2時間 (2) 2～3時間 (3) 2時間</p>
フィードバック	<p>・提出された課題に対するフィードバックは次週の授業内、またはマナバで行う。 ・理解が不十分な場合は再提出を課すこともあります。</p>		
学生が準備すべき機器等	<p>・授業内でインターネットを参照することがあるため、Wi-Fiに接続のできるパソコンを持参すること。</p>		

ICT・データサイエンス教育プログラム	・本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目です。		
授業形態	講義		
具体的な内容	グループワーク／講義／演習／実験		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
文部科学省『小学校学習指導要領』	文部科学省	東京書籍	201円
文部科学省『小学校学習指導要領解説 理科編』	文部科学省	東京書籍	111円
【電子教科書】小学校指導法 理科 改訂第2版	石井恭子、市川直子	玉川大学出版部	2200円
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
たのしい理科の小話事典 小学校編	左巻健男編著	東京書籍	2200円
改訂版 なぜ、理科を教えるのかー理科教育がわかる教科書	角屋重樹	文溪堂	1045円
オープンリソース			
成績評価の基準・方法	<p>基準 ①小学校理科の学習指導要領内容の理解、②学年および領域ごとの学習のねらいや内容の把握、③理科の指導計画（年間および単元）や指導案の概念の理解ができれば合格とする。</p> <p>方法 平常（筆記）試験（40%）、実験レポート（40%）、授業内課題（20%）</p>		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科授業の構築に必要な正しい理科の観察法や実験方法について、理科の面白さや楽しさを実感しながら理解して下さい。</li> <li>・デジタル教科書を活用し電子黒板を使用したり、プログラミング学習についてiPadとアプリケーションソフト「WeDo 2.0」やWebサイトの「Scratch 3.0」などを利用したりします。</li> <li>・実験の際には白衣を着用し、事故や怪我を避けるために教員の指示に必ず従って下さい。</li> </ul>		
備考	電子教科書を使用しますので、毎時間パソコンを持参してください。		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	ES321004

科目	初等教科教育法（理科） A		単位数	2単位
開講年度学期・曜日 時限	2026年度秋学期		木曜4限	
担当教員	山本 真紀			
履修対象	子ども発達2年秋学期			
概要と目的	<p>「概要」 理科の目標、教育評価、安全指導など小学校理科学習の基礎的事項を理解し、理科の学習指導案を作成する。次いで作成した学習指導案に基づいて模擬授業を行い、評価の観点や評価方法についても学修する。</p> <p>「目的」 単元の構成を把握しながら模擬授業の実践を行い、授業の基本的な構成理解と、観察・実験を生かした授業を展開していくための知識や技術の基礎を身につけることを目的とする。</p>			
学位授与方針との関連	各授業科目は各学部・研究科の定める学位授与方針に基づき、カリキュラム上に配置されています。科目と学位授与方針の関連については以下のURLから確認してください。(https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/utility/curriculummap.html)			
達成目標	<p>「知識・技能」 （１）小学校学習指導要領の目標「A物質・エネルギー」「B生命・地球」の2領域の内容構成を確認し、理科の授業づくりの基礎的事項を理解する。 （２）「A物質・エネルギー」「B生命・地球」の単元研究を踏まえ、学習指導案の作成（単元観、児童観、指導観、本時の展開・評価）、加えて発問計画の作成、板書計画の作成、ワークシートの作成等について理解する。 （３）理科の実験における安全管理（観察・実験活動における事故対策、理科に関連する薬品の管理）について理解する。 （４）模擬授業を実施し、実際に生かしていく知識・技能を身につけることができる。</p> <p>「思考力・判断力・表現力」 （１）身につけた知識・技能を基に教材を作成し、模擬授業を試み、授業記録を基に学習指導を振り返り、評価し、実践的指導力を体得することができる。 （２）身につけた知識・技能を活用して、さまざまな場面にも対応していくことができる。</p> <p>「主体性・多様性・協調性」 （１）学びを社会に生かしていく力や児童理解を深める人間性を身につけることができる。</p>			
授業計画			単独	担当教員
1	オリエンテーション、学習指導案の書き方			山本真紀
2	理科の目標			山本真紀
3	小学校学習指導要領の変遷			山本真紀
4	理科学習と評価（１）評価の方法			山本真紀
5	理科学習と評価（２）理科の授業と評価			山本真紀
6	野外活動の方法／理科の安全指導			山本真紀
7	STEAM教育とICTを活用した理科授業づくり（１）			山本真紀
8	ICTを活用した理科授業づくり（２）			山本真紀
9	指導計画と学習指導案の作成方法			山本真紀
10	模擬授業の計画と教材づくり			山本真紀
11	模擬授業：小学校理科3年生			山本真紀
12	模擬授業：小学校理科4年生			山本真紀
13	模擬授業：小学校理科5年生			山本真紀
14	模擬授業：小学校理科6年生			山本真紀
15	模擬授業の振り返りと今後の課題			山本真紀
実務経験のある教員 による授業科目				
準備学習	（１）各回に授業で指示する教科書のページを熟読して予習を行う。 （２）毎回の授業で説明した内容について教科書の該当ページを確認する。 （３）模擬授業の教材準備、実施準備を行う。		（１）30分間 （２）30分間 （３）2～3時間	
フィードバック	・課題については適当な時期にフィードバックを行い、模擬授業については毎回授業内で振り返りを行います。			
学生が準備すべき 機器等	・ICTを活用した模擬授業に取り組むため、Wi-Fiに接続のできるパソコンを持参すること。			
ICT・データサイエンス 教育プログラム	・本科目は「関西福祉科学大学ICT・データサイエンス教育プログラム」の対象科目です。			

授業形態	講義		
具体的な内容	グループワーク／講義／演習／実習もしくは実技／プレゼンテーション／ロールプレイ／双方向型授業		
教科書			
教科書名	著者名	出版社	金額
小学校学習指導要領解説 理科編	文部科学省	東洋館出版社	122円
【電子教科書】理科教育法 第3版 -理論をふまえた理科の授業実践-	秋吉博之編著	大学教育出版	2200円
参考書			
参考書名	著者名	出版社	金額
小学校学習指導要領 -平成29年3月	文部科学省	東京書籍	221円
小学校理科検定教科書「わくわく理科」3年生～6年生		新興出版社啓林館	1575円（3年生）、1872円（4年生）、1980円（5年生）、1501円（6年生）
オープンリソース	・第10回において「NHK for School」の画像教材を紹介する。模擬授業（第11回～第14回）で積極的に取り入れる。		
成績評価の基準・方法	<p>基準</p> <p>①学習指導案作成の意義を理解して実際に作成でき、②グループで協力して模擬授業を実施し、③小学校理科の授業に必要な知識・技能を身につけていれば合格とする。</p> <p>方法</p> <p>小テストおよび課題（20%）、学習指導案（30%）、模擬授業（30%）、学習意欲（10%）</p>		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの活動や打ち合わせは、マナバのプロジェクトやリモートなどのICTを活用して行うようにする。</li> <li>・第7回と第8回はプログラミング学習を取り入れた学習指導案を作成する。</li> <li>・模擬授業はグループで行うので、役割分担を定め協力して実施すること。</li> </ul>		
備考	電子教科書を使用しますので、毎時間パソコンを持参してください。		
非常時の特例措置	新型コロナウイルス感染症や自然災害等の社会的な影響を受けて、やむを得ない理由により当初の授業計画から変更が生じる場合があります。	No.	ES422004